



地域と世界をつなぐ香川大学を目指して —国際交流と共創の新たな展開

副学長・インターナショナルオフィス長 和田 健司

平素より香川大学の国際交流活動に対し、皆様からの温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。インターナショナルオフィス長を仰せつかっている和田でございます。皆様のお力添えにより、本学の学生は国際的な感性を育みながら世界へと活躍の場を広げており、世界各国から集う留学生との交流を通じて、互いに学び合う豊かな国際環境が形成されています。

香川大学インターナショナルオフィスでは、令和4年4月より開始された6年間の中期目標・中期計画のもと、学生の視野と思考を広げるため、様々なバックグラウンドを持つ人材との交流を促進し、多様性に富んだ学生が安心して学べる環境の整備に努めてまいりました。海外協定校との連携を強化し、受入留学生数、派遣日本人学生数、海外研修・海外インターンシップへの参加学生数を着実に増加させるとともに、地域と協働した教育プログラムの充実にも力を注いでおります。

特に、昨年秋から今年度にかけては、新たにブータン王立医科大学 (KGUMSB)、インドネシアのスマラン大学 (Universitas Semarang)、台湾の国立屏東大学 (National Pingtung University)、インドのマヒンドラ大学 (Mahindra University)、およびインド工科大学マンディ校 (IIT Mandi) と大学間協定を、グラスゴー大学 (英国)、タマサート大学 (タイ) と部局間で協定を締結いたしました。これにより、アジア地域を中心とした国際連携のネットワークは一層拡大し、多様な分野における学生交流や共同研究の推進に新たな展開が生まれています。

また、寺尾副インターナショナルオフィス長・国際研究支援センター長に加え、グローバルカフェセンター長として野村教授、留学生センター長として高水準教授が着任しました。これにより、インターナショナルオフィスの運営体制が一層強化され、教育・研究・地域貢献を統合して推進する基盤が整いました。野村教授が率いるグローバルカフェは、学生が自発的に異文化交流を深める拠点として進化を続けており、高水準教授が統括する留学生センターは、安心して学べる留学環境の整備を通じて、地域社会と共生する国際的な人材育成を支えています。加えて、寺尾教授を中心に国際共同研究のマッチングが進められており、地域と世界を結ぶ学術ネットワークの拡充に大きく寄与しています。このように、教育・研究・地域の各側面を担うセンターが有機的に連携することで、香川大学は「地域に根ざし、世界とともに歩む大学」としての使命をより明確にしつつあります。

私たちは、ここに集うすべての人々が互いに学び、共に成長できる環境づくりを、学内外の協働によって進めてまいります。今後とも、香川大学の国際化への取り組みに、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



<国際交流活性化の推進>

グローバル・インスピレーション・イニシアティブ

2025年6月26日（木）にグローバル・インスピレーション・イニシアティブを経済学部講義「国際観光論」とのコラボ企画として開催し、本学の学生・教職員約170名が参加しました。最初に「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」でインドネシアに留学し、現地の日本語学校や大学で研修を行った本学学生が、その経験からの学びについて報告しました。その後、日本貿易振興機構（JETRO）香川事務所の水田賢治所長より、貿易・投資促進や日本企業の海外展開支援を行うJETROについての説明と、ご自身の海外経験および日本の現状について講演がありました。水田所長の講演は、長年の中国駐在経験からの知見に基づいて、具体的で示唆に富み、聴講した学生たちは大いに刺激を受けたようでした。



グローバル・カフェのWorkshop及びイベント

○グローバル・カフェ2025年度前期授業

4月14日から7月11日まで、ネイティブ教員、外部講師、留学生による語学クラスを開講しました。

また、IELTS特別試験対策講座として6/29にWriting、夏季休業中である9/27・28にSpeakingにフォーカスした講座を開講しました。

○TOEIC Speakingテスト

前期は4月～7月中に全10回の対策講座を開講し、7月12日に幸町キャンパスでTOEIC Speakingテストを実施しました。また、後期も12月14日に幸町キャンパスで実施するTOEIC Speakingテストに向けて10月9日より対策講座を開講中です。全10回の対策講座を受講した学生は本テストを無料で受検できます。

○グローバル・カフェイベント（表1）

1	Hanami Partyイベント	4月 1日（火）
2	Tea Partyイベント	4月21日（月）
3	留学生センター共催 マラウイイベント	5月21日（水）
4	NEXT韓国語コース共催 第1回韓国語カフェ	5月21日（水）
5	コロラド州立大学留学生交流イベント	5月29日（木）
6	セネガルイベント	5月29日（木）
7	お遍路体験ハイキング	5月30日（金）
8	河北医科大学との交流会	6月 6日（金）
9	留学生センター共催 中国イベント	6月11日（水）
10	掬月亭抹茶付き栗林公園散策	6月19日（木）
11	留学報告イベント（台湾真理大学・国立政治大学編）	6月20日（金）
12	留学生センター共催 ブルネイイベント	6月25日（水）
13	留学生センター共催 台湾イベント	7月 9日（水）
14	留学報告イベント（タイ）	7月11日（金）
15	NEXT韓国語コース共催 第2回韓国語カフェ	7月23日（水）

○学生と共催したイベント（表2）

1	Welcome Musicイベント（ジャズ研究会によるライブ）	4月 3日（木）、10日（木）
2	香川大学アカペラサークルえいおんアカペライベント	4月17日（木）
3	ICES（香川大学異文化交流会）共催 Welcome Party	4月25日（金）
4	ICES（香川大学異文化交流会）共催 コーヒートーク	6月26日（木）
5	ICES（香川大学異文化交流会）共催 韓国語カフェ	7月16日（水）

今年度もグローバル・カフェと留学生センターの共催イベントとして、「留学生自国紹介イベント」と題し、さめきプログラム参加学生による各々の出身国や生まれた街の紹介、自慢の郷土料理などについてプレゼンテーションを行いました。4月から7月にかけて4か国4名の留学生が故郷について紹介しました（表1）。



マラウイ



中国



4月、ジャズ研究会によるライブ「Welcome Musicイベント」を皮切りに、アカペラサークルえいおんによるアカペライベント、新入生、在校生ともに良い新年度スタートを切ってもらいたいというICES（香川大学異文化交流会）の願いにより実施したWelcome Partyが行われました。その後も学生との共催イベントが月約1回のペースで続けられ、計5回実施しました（表2）。



花見パーティー



お遍路体験ハイキング

留学経験者による留学報告イベントも定期的に行っています。2025年前期は学術交流協定校である真理大学・国立政治大学（台湾）や、チェンマイ大学（タイ）に留学した香大生を迎えて、現地での授業や生活の様子、滞在地での旅行体験を紹介してもらいました。



台湾



タイ

○留学相談

日本人学生を対象に、留学相談を受け付けています。学生の希望に合わせて相談時間を設定し、2025年前期に対面もしくはメールにて計31回（対面26回、メール相談5回）実施しました。またグローバル・スタートアップ海外研修プログラムについての相談を対面で9回実施しました。

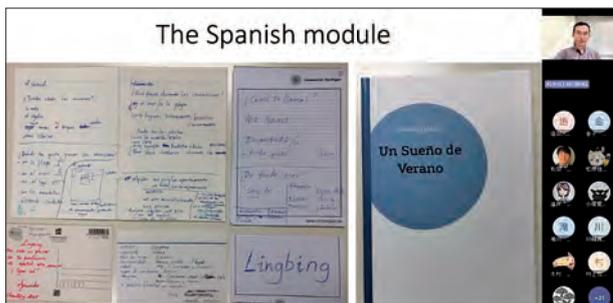
グローバル・カフェ HP
最新の情報はこちら



Erasmus+によるサボア・モンブラン大学への国際交流プログラム研修派遣について

昨年に引き続き、本学の学術国際交流協定校であるサボア・モンブラン大学より、本学教職員を対象としたErasmus+による国際交流プログラムの案内がありました。学内選考の結果、農学部 KONG Lingbing 准教授、インターナショナルオフィス 呉 昀熹講師、創造工学部 李 セロン助教の3名が、2025年6月23日～28日に実施された“Summer Modules for Intercultural & Language Education (S.M.I.L.E.) 2025”プログラムに参加しました。

帰国後の10月1日には、全教職員を対象としたオンライン報告会を開催しました。本報告会はSD活動の一環として、教職員の国際的視野を広げ、本学における国際交流のさらなる推進を図ることを目的として実施しました。当日38名の教職員が出席したほか、Moodleによるオンデマンド配信を42名が視聴しました。



<外国人留学生対象行事>

プロジェクトさめき

インターナショナルオフィスが受入部局となっている「さめきプログラム」では、今年度4月に22期生4名（交換留学生3名、国費生1名）、10月に23期生12名（交換留学生9名、科目等履修生1名、国費生2名）を受け入れました。本プログラム生は全員が主題科目「プロジェクトさめき」を履修します。SDG14「海の豊かさを守ろう」について留学生が日本人学生と共修する科目で、県の里海担当職員による特別講義、ビーチクリーン活動、グループ発表、レポート作成等を通して8週の間にも多様な学修を行います。

22期生は5月17日（土）に高松東部下水処理場近くの海岸で、23期生は11月9日（日）にさめき市津田の北原海岸で、ビーチクリーンを行いました。いずれも、かがわガイド協会の森田桂治氏と安井里香氏にご指導いただきました。プラスチックごみの多さ、カキ養殖用のパイプ（まめ管）が漂着していること等、現地で体験して分かることが多く、自国や地元の状況とも比べつつ、発生抑制を含めた海ごみ対策の必要性を実感する研修となりました。

◆第1クォーター 東部下水処理場北側の海岸



拾ったごみを種類ごとに分類



終了後の記念撮影

◆第3クォーター 北原海岸



グループごとに割り当てられた区域を清掃



拾ったごみは過去最多

<初級日本事情>

初級日本事情の授業では、さめきプログラムの学生や交換留学生を対象に、日本の歴史、文化、風習、地理などについて総合的に学ぶ授業を開講しています。教室での授業に加え、体験的な学びを通して理解を深めることを目的に、フィールドワークを行っています。2025年度前期は、本学滞在中の学生や研修生と一緒に活動しました。5月30日に米国エッカード大学生10名、メキシコからのJICA研修生5名と一緒に屋島寺まで遍路体験を行いました。6月4日には瀬戸内圏研究センターの協力を得て調査船カラヌスIIIで瀬戸内海固有の景観を見学しながら小豆島へ行きました。そこでエッカード大学生と合流してマルキン醤油記念館を訪問し、醤油の伝統的製法が今も守られていることを学びました。6月19日にはJICA研修生とともに栗林公園掬月亭で茶道の精神を学び、抹茶体験を行いました。

2025年度後期についても、同様のフィールドワークを実施する予定です。



屋島遍路体験後の記念写真



調査船カラヌスIIIで瀬戸内海を体感

留学生のつどい—昨年度の報告と今年度の開催

2025年1月25日（土）、本学が事務局を務める香川県留学生等国際交流連絡協議会の主催で、留学生のつどいを実施しました。この行事は同協議会の教育機関に在籍する留学生と地域の各種団体等の交流を主目的にしています。構成はホームビジット報告会、外国人留学生作文コンテスト表彰式、留学生によるパフォーマンス、意見交換・交流会の4部となっており、多くの方にご参加いただきました。

2025年度の留学生のつどいは、2026年1月24日（土）に予定されており、今回は上記作文コンテスト表彰式の代わりに、スピーチコンテストが実施されます。現在、一般の参加希望者およびパフォーマンス参加希望者の募集が行われています。協議会の皆様、ホストファミリーの皆様のご参加をお待ちしております。



終了時に全員で

<日本人学生派遣事業>

プトラ・マレーシア大学の学生とともに学ぶマレーシア・多文化体験プログラム

本学の学術交流協定校であるプトラ・マレーシア大学（UPM）の協力を得て、2022年度から毎年、超短期留学入門プログラム「マレーシア・多文化体験プログラム」を実施してきました。このプログラムはUPMでの講義と現地でのフィールドワークを通してマレーシアの文化や自然を体験し、多文化社会を学ぶことを目的としています。

2025年度からは、全学部生対象の主題科目として「海外体験型異文化コミュニケーションⅠ」および高度教養科目「海外体験型異文化コミュニケーションⅡ」となり、8月25日～9月2日に実施した現地プログラムには、7名の学生が参加しました。学生たちは、事前に決めたテーマに沿って現地調査を行い、訪問期間中に英語で発表を行いました。

プログラムはUPM内外での様々な体験型授業で構成され、UPMの学生がバディとして温かくサポートしてくれました。課外学習では、クアラルンプールでペトロナス・ツインタワーを見学したり、イスラム教・ヒンズー教・仏教の寺院を訪問したほか、JICAマレーシア事務所まで海外協力隊員から話を聞きました。参加者からは「現地で宗教が生活の一部であることを実感し、認識が変わった」「英語力を使いながら何とかやっていく度胸と自信が得られた」「専門をいかして国際貢献する仕事という将来の選択肢を考えるようになった」などの感想が寄せられました。



UPMキャンパスで記念撮影



大学博物館で様々な民族の伝統衣装を着用

日本学生支援機構 (JASSO) 協定派遣プログラム (通称「対話×GC×GC」) について

「対話×GC×GC：協定校での専門分野における学習とグローバルカフェ (GC) で留学生との対話を通して相互理解を深めることのできるグローバルコンピテンシー (GC) を備えた人材の育成プログラム」による協定校派遣を2025年8月から開始しました。11月までに台湾に2名、韓国に1名、ドイツに1名、タイに1名派遣し、さらに今年度中に、韓国に2名派遣予定です。派遣学生は、グローバル・カフェで実施する事前研修を受講し、留学目的を明確にして現地での学習に備えるとともに、留学先からは毎月レポートを提出し、現地の様子や学習の進捗ぶりを伝えることになっています。



事前研修の様子 (1)



事前研修の様子 (2)

かがわグローバル人材共創事業 「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」

「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」は香川県の課題解決に取り組む志の高い若者の海外研修を支援するもので、香川大学国際課が事務局を務めています。

2025年度第2期生の募集を行い、2名の香川大学生が採択されました。9月の事前研修を経て、1名は10月にドイツでの研修を終了し、もう1名は2026年3月にニュージーランドにおいて研修を実施する予定です。また、11月に、2024年度採択の第1期生2名の留学成果報告会をオンラインにて開催し、関係者約20名が参加、報告内容について活発な質疑応答がありました。

かがわグローバル人材共創事業
グローバル・スタートアップ
海外研修プログラム
2025年度 派遣留学生募集

～やりたいことが出来る留学！新しい自分に出会う旅をサポートします～

**行きたい国へ、やりたいことを！
自由度の高い留学**

**準備金・留学費用は
返済不要の奨学金**

**1週間以上3か月未満の
短期留学をサポート！
夏休み中の留学も可能**

留学計画相談を無料で行っています

留学先や計画作りが分からず、応募し躊躇っている皆さんか？
そんなあなたの留学計画改善見直しをします！
香川地域人材コース協議会(香川大学国際課)に
お問い合わせください。mail: kikunai@kagawa-u.ac.jp

お問い合わせ先
香川地域人材コース協議会(香川大学国際課内)
mail: kikunai@kagawa-u.ac.jp
かがわグローバル人材共創事業
グローバル・スタートアップ海外研修プログラムホームページ
https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/

募集要項・応募方法はこちら

<p>香川大学 インターナショナルオフィスニュース 第32号 2025年(令和7年)12月24日</p>	<p>香川大学インターナショナルオフィス 〒760-8521 高松市幸町1-1 Tel : 087-832-1318 Fax : 087-832-1192 E-mail : kokusai-h@kagawa-u.ac.jp URL : https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/ 留学生センターfacebook URL : https://www.facebook.com/KUISC グローバル・カフェfacebook URL : https://www.facebook.com/GlobalCafeKagawaUniv</p>
--	---